

開業70周年の“山のホテル”で、受け継がれてきたツツジ庭園を愉しむ



↑オープン当時の「山のホテル」(昭和23年)

←現在のツツジ庭園の様子

↓過去に開催された「つつじ・しゃくなげフェア」のチラシ



左
昭和40年
右
昭和47年

箱根・芦ノ湖畔に位置し、遠景には雄大な富士の姿が。箱根屈指のロケーションで知られる“小田急 山のホテル”がオープンしたのは、1948年(昭和23年)5月15日のこと。今年、2018年で開業70周年を迎えます。

5月は、広大な庭園に約30種3,000株の色とりどりのツツジの花が一面じゅうたんを敷いたように美しく咲き誇る季節。一人でも多くの方に見ていただきたいという想いから、ホテルでは1965年(昭和40年)頃からツツジ庭園の一般開放を実施。毎年5月に「つつじ・しゃくなげフェア」を開催するようになりました。年々来園者は増え続け、近年のツツジ開花中の来園者は約45,000人に。今では箱根の風物詩の一つとなっています。

そもそもホテルのあるこの土地は、三菱四代目社長の岩崎小彌太男爵の別邸があったところ。庭園のツツジの多くは男爵が集めたもので、樹齢100年以上経つ株や、人の背丈を超えるもの、貴重な品種などもあります。

地形の起伏を利用して、富士山に向かって駆け上がるよう、また芦ノ湖に向かって流れ込むように、“玉造り”と言われる丸く刈り込んだ大小のツツジの株が植えられ、まるで絵画のよう。ピンク、赤、紫、白の順に蕾がほころび始めます。また、開花に前後して、ツツジ庭園奥のシャクナゲ園でも、男爵が愛したシャクナゲが今では約20種300株の花を咲かせます。

かつて男爵が“園遊会”を開いて多くの人をもてなしたというツツジ庭園。この自然を大切に受け継いできた“小田急 山のホテル”では、開業70周年を迎える今年、特別記念宿泊プランやイベントなどを、今後順次発表。アニバーサリイヤーを盛り上げていきます。

■今年のツツジ観賞は、新型ロマンスカー・GSE(70000形)で

“小田急 山のホテル”が開業して2年後、小田急電鉄の列車が箱根湯本まで乗り入れ、その翌年1951年(昭和26年)には特急ロマンスカーが本格的に運転を開始。ロマンスカーの運行とともに、箱根は観光地として整備されてきました。

そして今年3月17日(土)にデビューするのが、新型ロマンスカー・GSE(70000形)です。車体は「薔薇」の色を基調とした「ローズバーミリオン」で、もちろん展望席も設置。箱根への旅行気分がより盛り上がる新型ロマンスカー・GSEに乗って、“小田急 山のホテル”的ツツジを観に行くのもおすすめです。



庭園に咲くツツジと富士山

◆花 DATE ◆

ツツジの見頃

5月上旬～中旬

シャクナゲの見頃

5月中旬～下旬

庭園一般開放期間

ツツジ開花中

※開花状況はホテルのHPで確認できます

庭園見学料

800円

見学時間

9:00～17:00



新型ロマンスカー・GSE

◆◆◆ 山のホテル庭園プロジェクト ◆◆◆

ホテルでは由緒ある庭園の維持・再生を目的に、山のホテル庭園プロジェクト「男爵の100年ツツジ 100年先への挑戦」を、2015年より10ヵ年計画で開始しました。100年後を視野に入れ、ツツジは挿し木で、シャクナゲは接木によって、「男爵のツツジ」のDNAを残すという方法で、“今と変わらぬ庭園を次世代に引き継ぐ”プロジェクトをスタートさせました。

■「ツツジプロジェクト」男爵のツツジを100年先まで

「ツツジプロジェクト」では、現在のツツジが枯れたり弱ったりしたとき、単に新たな木を植えて今の庭園を維持するのではなく、手間はかかるけど、挿し木で「男爵のツツジ」のDNAを残し、その木を植えていくことにしました。協力を仰いだのは、新潟市にある一軒の農園。新潟県はツツジ・シャクナゲの生産量が日本一で、花卉農家も多く、数多くの新品種を作出した歴史もあります。2015年6月、岩崎小彌太男爵が植えた木の中から小紫、白錦、八重げらなど6品種の枝(穂木)を採取。新潟に送り、挿し木で育てられました。この苗木が30cmほどに成長したため、一部をホテルに戻し、庭園の一角の圃場に植えました。さらに、70cmほどに育ってから、庭園に定植して行く予定です。



① 山のホテルにて穂木を採取



② 穂木を水につけた後、袋に空気を入れて新潟へ



③ 新潟にてハウス内の苗床に植え込み挿し木で育成



④ ホテルに戻ってきた苗木
(2017年7月時点の様子)

■「シャクナゲプロジェクト」学術的にも貴重な品種のDNAを残す

ツツジ庭園奥のシャクナゲ園では、西洋シャクナゲや日本シャクナゲなど約20種300株が育てられ、ツツジと前後して見頃を迎えます。男爵が留学先のイギリスから取り寄せたシャクナゲは、日本で最初に輸入された西洋シャクナゲといわれ、学術的に大変貴重なものとされています。

ホテルでは、このシャクナゲも貴重な品種のDNAを残していくことを計画。2015年12月、接木による再生プロジェクトを開始しました。「ゴーマ・ウォータラー」と「マイケル・ウォータラー」の2品種から10～15cmの穂木を各10本新潟の農園に送り、根のついた別のシャクナゲの幹を切って、穂木の切断面と固定することで接木し、育成しています。その後2017年12月に2回目を実施。今後、40cmほどに育った苗をホテルの庭園に補植する予定です。



ゴーマ・ウォータラー



接木されたシャクナゲの苗

■ツツジ・シャクナゲの品種調査と土壤改良

男爵が植えたツツジやシャクナゲの中には、長い年月の間に品種が分からなくなってしまったものがあります。そこで2016年から、開花時にツツジ・シャクナゲの研究家 倉重祐二氏による品種調査を行っています。調査の結果、ツツジ・シャクナゲとともに相当な樹齢の大株が多く、日本では他に栽培例の少ない希少品種が多数栽培されていることも分かりました。2018年も引き続き詳細な調査を実施するとともに、長期的な視野に立った栽培管理として、庭園の土壤改良も、年月をかけて順次行っていく予定です。



倉重祐二プロフィール

神奈川県横浜市生まれ。千葉大学大学院園芸学研究科修了。赤城自然園(群馬県)を経て、現在は新潟県立植物園副園長。ツツジ属の栽培保全や系統進化、花卉園芸文化史を専門とする。「趣味の園芸」(NHK)に講師として出演。著書に『よくわかる栽培12か月 シャクナゲ』(NHK出版)、『増補原色日本産ツツジ・シャクナゲ大図譜』(改訂増補、誠文堂新光社)など。

■庭園プロジェクト2017年の取り組み

3月：ツツジ庭園の一部の土壤改良を実施

5月：ツツジ・シャクナゲ開花中に品種調査を実施

6月：2015年に新潟に預けたツツジの苗木の一部(6品種約600株)がホテルに戻り、

庭園の圃場に植え込み

12月：新潟の農園にシャクナゲの穂木を新たに9品種送り、接木での育成を開始

12月：庭園のシャクナゲ10株を、環境整備のため園内で試験移植

■お礼肥、剪定、雪下ろしなど、年間を通じてツツジを手入れ



美しく咲き終えた株に、お礼肥で栄養補給

次の年も美しく咲かせるための世話は、開花後、栄養を使い切って消耗したツツジの根元に肥料を与えることから始まります。美しい花を咲かせてくれたツツジへ、お礼の気持ちを込めた「お礼肥」は、社員総出で行います。一株一株、株の周りに20～30ヵ所の穴を掘り、丁寧に施した肥料は、次の花芽を育てる大切な栄養分となります。



剪定も1年で大切な作業。一枝一枝見極めて丈夫な株を作ります

6月半ばには刈り込みが行われます。刈り込むと枝分かれしてたくさんの花芽がつき、翌春により多くの花を咲かせます。来年の花芽がつく直前に、2～3日で一気に行います。また、剪定は1年をとおして、こまめに。枝が込み合っていると風通しが悪くなり、苔やカビがつくなどして、木が弱ってしまいます。



消毒、殺虫、落ち葉清掃……
秋冬も手入れは続きます

株を虫や病気から守るために殺虫・消毒作業や除草も欠かせません。苔やカビはブラシで丁寧にそぎ落としますが、大きな株になると2人で1日かかるほど。秋は落ち葉の除去、冬は雪からの保護が大事な作業になります。積もるような雪が降るときは、何度も降っている最中の雪下ろし。積もったままにしておくと、雪の重みで枝が折れてしまいます。

■アジサイやバラへと続く庭園散策の見どころ

ツツジやシャクナゲに続き、6月中旬～下旬には下庭の散策路に沿って約25種230株のアジサイが見頃を迎えます。このアジサイは、梅雨の季節も庭園を楽しんでもらいたいと、2014年から3年に渡って徐々に植えられたもの。庭園では、青やうす紫の素朴な色合いのコアジサイや深山八重などのヤマアジサイに加え、華やかな彩りのコエルレアやプレジオサなどの西洋アジサイも観賞できます。

また同じころ、ホテル庭園の一角にあるローズガーデンでは、見頃を迎えるバラの甘い香りで包まれます。庭を彩るバラは約30種200株。高貴で目を引くものから清楚な花が咲く品種などもそろっていて、好みのバラを探すのも楽しみです。

さらに秋には紅葉など、四季を通して庭園を楽しむことができます。園路も歩きやすいように舗装され、斜面にはスロープを設けるなど、車椅子やご年配の方もスムーズに、安心して“庭園散策”が楽しめるようになっています。



散策路に沿って咲くアジサイ



ローズガーデン

◆◆◆ 花の主な種類 ◆◆◆

ツツジ— 約30種 3,000株 (見頃:5月上旬～中旬)

麒麟(きりん)、若鷺(わかさぎ)、紅霧島、八重げら、花車、小紫、峰の松風、京鹿の子、ヤマツツジ、ゴヨウツツジなど

シャクナゲ— 約20種300株 (見頃:5月中旬～下旬)

ゴーマ・ウォータラー、マイケル・ウォータラー、フォーチュネイ、ウィリアム・オースティン、キョウマルシャクナゲ、ホソバシャクナゲ、ツクシシャクナゲなど

アジサイ— 約25種230株 (見頃:6月中旬～下旬)

ヤマアジサイ…コアジサイ、深山八重、紅(くれない)、安行(あんぎょう)など

西洋アジサイ…コエルレア、プレジオサ、アナベルなど

バラ— 約30種 200株 (見頃:6月中旬～7月上旬)

ホワイトクリスマス、ダブルデライト、アイスバーグ、ゴールドバニー、チャールストン、ジュリア、マチルダ、クイーンエリザベス、ブルグント81など

『小田急 山のホテル』概要

客 室 全89室 収容人数 189名

◆スタンダードツイン	(30m ²)	76室
◆コーナーデラックスツイン	(45m ²)	1室
◆コーナートリプルルーム	(45m ²)	3室
◆富士山ビューデラックスツイン	(50m ²)	1室
◆富士山ビュー和洋室	(81m ²)	1室
◆プレミアムフォース(源泉掛け流しビューバス付き)	(67m ²)	1室
◆プレミアムツイン(源泉掛け流しビューバス付き)	(59m ²)	4室
◆温泉付き和洋室	(63m ²)	2室

★チェックインタイムは15:00、チェックアウトタイムは12:00。

交通

- 電車・バス ◆新宿から箱根湯本まで小田急ロマンスカーで約85分。
箱根湯本から「元箱根港」まで路線バスで約40分。
元箱根港より徒歩15分。
◆新宿から山のホテルまで小田急箱根高速バスで約150分。
- 車 ◆小田原厚木道路から箱根新道経由、元箱根へ。
芦ノ湖大観I.C.より約10分。

所在地

〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根80
☎0460-83-6321

ホームページアドレス

<http://www.hakone-hoteldeyama.jp/>

ツツジの開花情報や宿泊プランなど、ホテルの最新情報がご覧いただけます。

★ホテル諸施設の写真を揃えております。

ご入用の際、または取材に関しましては、(株)小田急エージェンシーまでご連絡ください。

○このリリースに関するお問い合わせ

株式会社 小田急エージェンシー ☎03-3344-5988 press@odakyu-ag.co.jp

○貴誌(紙)・貴番組にてご紹介いただく際の読者からのお問い合わせ先

小田急 山のホテル ☎0460-83-6321